

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルームきゅーぶ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SST(ソーシャルスキルトレーニング)を毎日時間を決めて取り組んでおり、児童にも考えてもらう場面を作っています。その中で関わる人への「挨拶」「思いやり」「譲り合い」について毎回伝えています。	毎回必ずSSTの時間を設けていて、それぞれの意見を出してもらっています。 言葉が話せない児童でも、自分なりの意見が伝えられるよう絵カードを使用しています。	実際の行動場面でも、「〇〇の時にはどうしたら良いでしょうか?」など問いかけることで、考える力が身につくよう対応中です。
2	毎回送迎時に、その日の活動様子の写真をお配りしています。写真自体はパソコンを使える児童が作成しています。	パソコンが使える児童には、更に使い方を覚えている児童に作り方を教えるなど、年齢関係なくコミュニケーションを図ってもらっています。	一人でも多くの児童に出来ることを増やし、満足できる達成感を身をもって感じてもらえるように、引き続き声掛けをしていきます。
3	事業所裏に公園があることから、天気の良い時には遊びに行きます。遊具を使用したり、全員で遊べるものを提案しながら、それぞれ「コミュニケーション」や「外に出て過ごす」という事をが習慣化出来るようにしています。	遊具の貸し借りの際、「貸して」「どうぞ」など自然と言葉やジェスチャーが出来るよう、間にスタッフが入りながら対応しています。	トラブルが起きた際に、その場で相手に対する思いやり・譲り合いを体験しながらお互いにどうコミュニケーションが取れているかもスタッフが対応しながらそれぞれに感じてもらうよう対応しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨年度、夏祭り後初めての懇談会をしました。これまで保護者様が事業所に集まる機会は無かったので、なかなか情報が上がらない事が多かったと思います。	今後は、児童のありのままの様子も見て頂きたいので随時見学も受付し、懇談会も継続して行なっていきたいと思ひます。	モニタリング時期に保護者様のご要望等改めて確認をしていきながら、児童の成長に繋げていきたいと思ひます。
2			
3			